

STAGE+を楽しむ(87)(HP 収載)

—オペラ《アリオダンテ》—

1. 始めに

前報(86)に引き続き、STAGE+のヘンデルのオペラ《アリオダンテ》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ヘンデルのオペラ《アリオダンテ》の演奏を選びました。

ロバート・カーセンによる注目演出が光るヘンデルのオペラ《アリオダンテ》
パリ・オペラ座

収録日: 2023年5月11日

エミリー・ダンジェロがタイトルロールを演じるヘンデルのオペラ《アリオダンテ》。魅力的な旋律が多く、ドラマ性もあるため人気のある作品です。今回は絢爛豪華なガルニエ宮でロバート・カーセンの新演出によって上演されたものを収めました。1735年にロンドンで初演されたこのオペラは、アリオダンテと婚約者のジネーヴラ、そして彼らを引き裂こうと冷酷な策略をめぐらす裏切り者ポリネッソの物語が描かれています。ヘンデルの音楽のスペシャリストであるハリー・ビケットが指揮するイングリッシュ・コンサートの演奏にも注目です。

ソリスト:

エンリコ・カザリ (テノール)、オルガ・クルチンスカ (ソプラノ)、エミリー・ダンジェロ (メゾソプラノ)、クリストフ・デュモー (カウンターテノール)、タマーラ・バンジェセヴィチ (ソプラノ)、ルカ・ピサロニ (バスバリトン)、エリック・フェリング (テノール)

演奏:

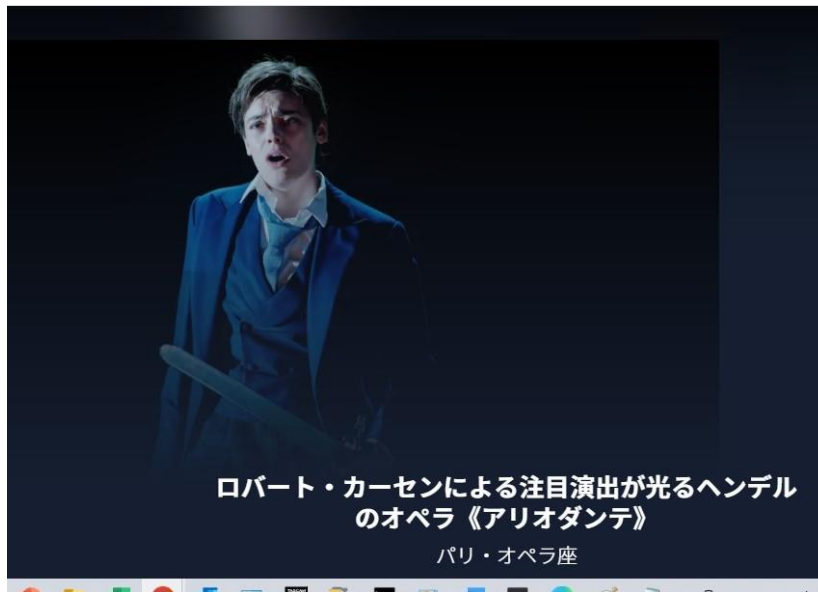
イングリッシュ・コンサート

指揮:

ハリー・ビケット

曲目:

ジョージ・フレデリック・ヘンデル 《アリオダンテ》



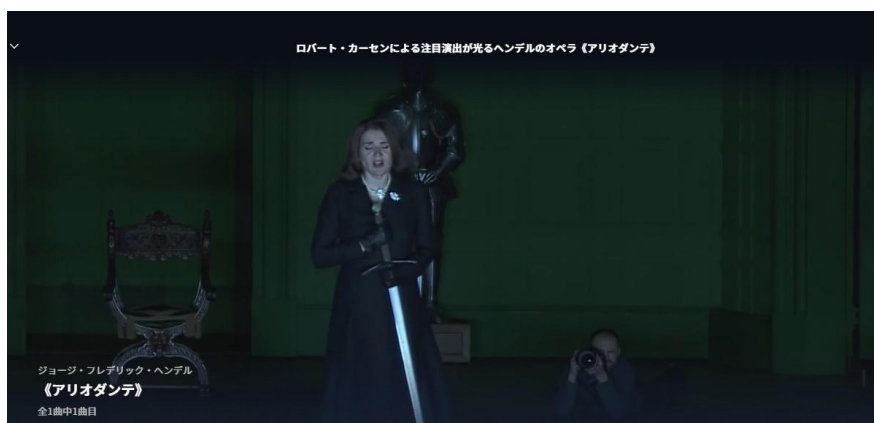
3. 試聴の経過

今回から LAN アクキュライザーをスイッチングハブから PC への LAN ケーブルに装着して聴いていきます。

筋書きなどの理解は十分ではありませんが、バロック時代の題材を近代に翻案したような演出です。

LAN アクキュライザーにより、すべての登場人物の声の質感とダイナミズムが向上し、バックのバロックアンサンブルのイングリッシュ・コンサートの古楽器の質感も向上して、全体としてステージの空間表現が向上しています。





4. まとめ

これまでの仮想アースや LAN iSilencer に加えて LAN アクライザーが加わったことで、ヘンデルのオペラのステージ感の一層の向上が認められました。

以上